

ハッピーパスの09



106

全40口 ●1口60万円 (総額2,400万円)

生産 ノーザンファーム 繋養 ノーザンファームYearling



106

シンボリクリスエス × ハッピーパス [メス]

*シンボリクリスエス Symboli Kris S 黒鹿 1999	クリス エス Kris S. 黒鹿 1977	Roberto	<i>Hail to Reason</i>
			Bramalea
ディー ケイ Tee Kay 黒鹿 1991		Sharp Queen	Princequillo
			Bridgework
*サンデーサイレンス Sunday Silence 青鹿 1986		Gold Meridian	Seattle Slew
			Queen Louie
ハッピーパス 鹿 1998	*ハッピートレイルズ Happy Trails 鹿 1984	Tri Argo	Tri Jet
			Hail Proudly
		Halo	<i>Hail to Reason</i>
			Cosmah
		Wishing Well	Understanding
			Mountain Flower
		*ボッセ	Forli
			In Hot Pursuit
		*ロイコン	High Top
			Madelon(4)

メス・鹿毛
2009年
2月12日

ポイント POINT

母にとっては初の牝駒ですが、その恵まれた骨格とボリューム満点の筋肉は、父の特徴をしっかりと継承した雄大で実に頼もしいものです。同じくパワフルでダイナミックな身のこなしは弾けるような瞬発力を連想させ、スムーズに上下動する首から背腰へのしなるような歩様は芝・ダートを問わぬ高い適応力を感じさせます。また男勝りで気丈な性格と要所にてみせる母ゆずりの集中力は、ここ一番で大なる力を発揮するタイプに共通のものです。幾多の重賞戦線をおわずかの差で脇役に甘んじてきた母ですが、本馬には主役の座をつとめるに十分な資質が心身ともに備わっているといえます。

母系 FAMILY

母の父 *サンデーサイレンス Sunday Silence は米国産、米年度代表馬、米9勝、ケンタッキー ダービー-G1。本邦チャンピオンサイアー。本邦BMSチャンピオン。【BMS: 主な産駒】アドマイヤムーン(ジャパンC-G1)、スクリーンヒーロー(ジャパンC-G1)、ヴァーミリアン(ジャパンCダート-G1)、レジネッタ(桜花賞-JPN1)、ローズキングダム(朝日杯フューチュリティS-JPN1)

母 ハッピーパスは2~6歳時、28戦5勝、京都牝馬S-JPN3、同3着、札幌日刊スポーツ杯-OP、ノベンバーS、逆瀬川S、ファイアーズレビュー-JPN2 2着、阪神牝馬S-JPN2 2着、クイーンC-JPN3 2着、中山牝馬S-JPN3 2着、紅梅S-OP 3着、エイプリルS-OP 3着、ターコイズS-OP 3着、桜花賞-JPN1 4着、新潟大賞典-JPN3 4着、日経賞-JPN2 5着。本馬は第2仔

祖母 *ハッピートレイルズ Happy Trailsは愛国産、英5戦、入着。産駒
*シンコウラブリイ: 最優秀古牝馬、10勝、マイルチャンピオンシップ-JPN1、同2着、スワンS-JPN2、毎日王冠-JPN2、ニュージーランドT4歳S-JPN2、クイーンS-JPN3、ラジオたんぱ賞-JPN3、富士S-OP、福島3歳S-OP、札幌日経オープン-OP、京王杯スプリングC-JPN2 2着、安田記念-JPN1 3着、阪神3歳牝馬S-JPN1 3着。産駒
ロードクロス: 8勝、中京記念-JPN3、外房S、北海道新聞杯、七夕賞-JPN3 2着、大阪杯-JPN2 5着
レディミュージズ: 3勝、千葉テレビ杯、チューリップ賞-JPN3 2着、オークス-JPN1 4着。シンメイフジ(新潟2歳S-JPN3)の母
トレジャー: 4勝、都大路S-OP、目黒記念-JPN2 2着、セントライト記念-JPN2 2着、ダービー卿CT-JPN3 2着

*タイキマーシャル: 8勝、エプソムC-JPN3、クリスマスS-OP、朱鷺S-OP、セプテンバーS、京成杯オータムH-JPN3 2着
サンタフェトレイル: 5勝、福島テレビ杯、若潮賞。産駒
キングストレイル: 4勝、セントライト記念-JPN2、京成杯オータムH-G3、東風S-OP、オールカマー-G2 2着、京王杯2歳S-JPN2 2着、スプリンターズS-G1 4着
サンタフェンレイユ: 1勝、フェアリース-JPN3 2着
シンコウビューティ: 不出走。産駒
ハッピールック: 5勝、札幌日経オープン-OP、みなみ北海道S-OP、松前特別、アルゼンチン共和国杯-JPN2 2着